

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第19号(週報・月報合併号)

2010年第19週(5月10日~5月16日)、月報4月

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### — 流行性耳下腺炎 : 岩出、湯浅、田辺保健所管内で患者報告数が多い!! —

岩出、田辺保健所管内の定点当たり患者報告数は、それぞれ4.75人(前週:9.75人)、10.00人(前週:7.75人)となり、警報レベル基準値または終息基準値を超えています。また、湯浅保健所管内の患者報告数は、3.00人(前週:2.67人)と増加し、注意報レベル基準値を超えました。御坊保健所管内の患者報告数は、1.50人(前週:5.50人)と減少し、注意報レベル基準値を下回っています。

県全体の患者報告数は2.90人(前週:3.26人)と減少しましたが、全国の報告数(過去5年間の同時期)と比較して多い状況ですので、今後の動向に注意してください。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人(終息基準値:2.0人)、注意報が3.0人です。(ともに定点当たり患者報告数)

流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)の詳しい説明はこちら

([http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03\\_35.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html))

### — 水痘 : 湯浅保健所管内で警報レベル基準値を超えました! —

湯浅保健所管内の定点当たり患者報告数は、7.33人(前週:1.67人)と急激に増加し、警報レベル基準値を超えました。県全体の定点当たり患者報告数も2.45人(前週:1.61人)と増加しています。県全体の患者報告数は、全国の報告数(過去5年間の同時期)と比較して特に多くはありません。

前週、注意報レベル基準値を超えていた海南保健所管内の患者報告数は2.00人(前週:4.00人)と減少し、基準値を下回りました。

なお、水痘の警報・注意報レベル基準値は警報が7.0人(終息基準値:4.0人)、注意報が4.0人です。(ともに定点当たり患者報告数)

水痘(水ぼうそう)の詳しい説明はこちら

([http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01\\_g2/k01\\_24.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_24.html))

### — 手足口病 : 警報レベル基準値を超える保健所はないが、患者報告数が多い! —

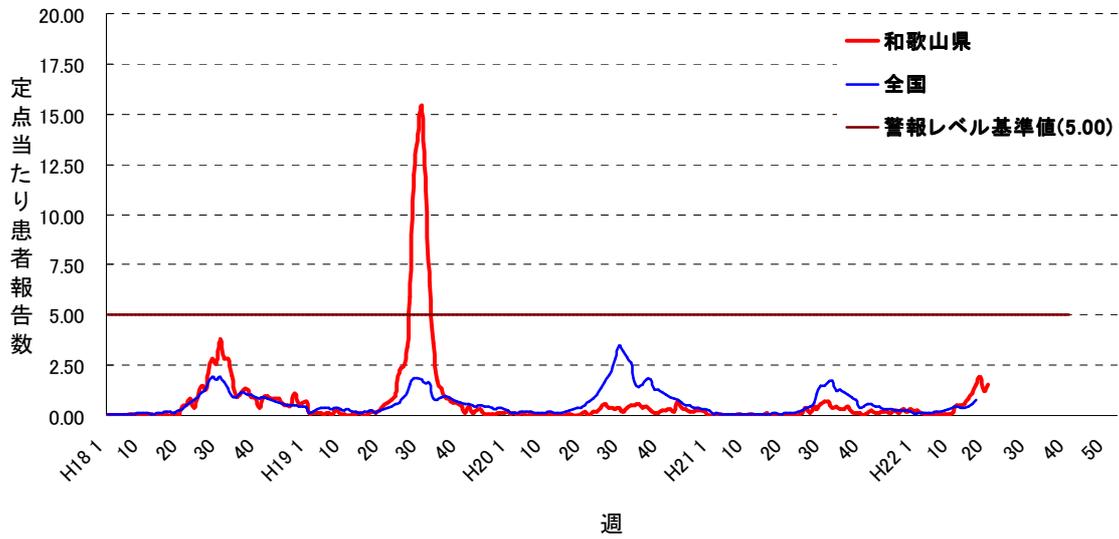
手足口病は、手のひら・足の裏・口の中を中心に発疹や水疱が現れるのが特徴で、一般的に夏場に流行する感染症ですが、今年は全国的に春先から患者報告数が増加しています。

県全体の定点当たり患者報告数は、1.52人(前週:1.19人)と増加しています。特に、和歌山市、湯浅保健所管内の定点当たり患者報告数が、それぞれ2.89人(前週:1.89人)、3.33人(前週:3.33人)と多くなっています。また、国立感染症研究所が発行するIDWR第16号(4月19日~4月25日)によると全国の定点当たり患者報告数は0.79人となっています。これは、過去5年間の同時期と比較してかなり多い数ですので、今後の動向に注意してください。

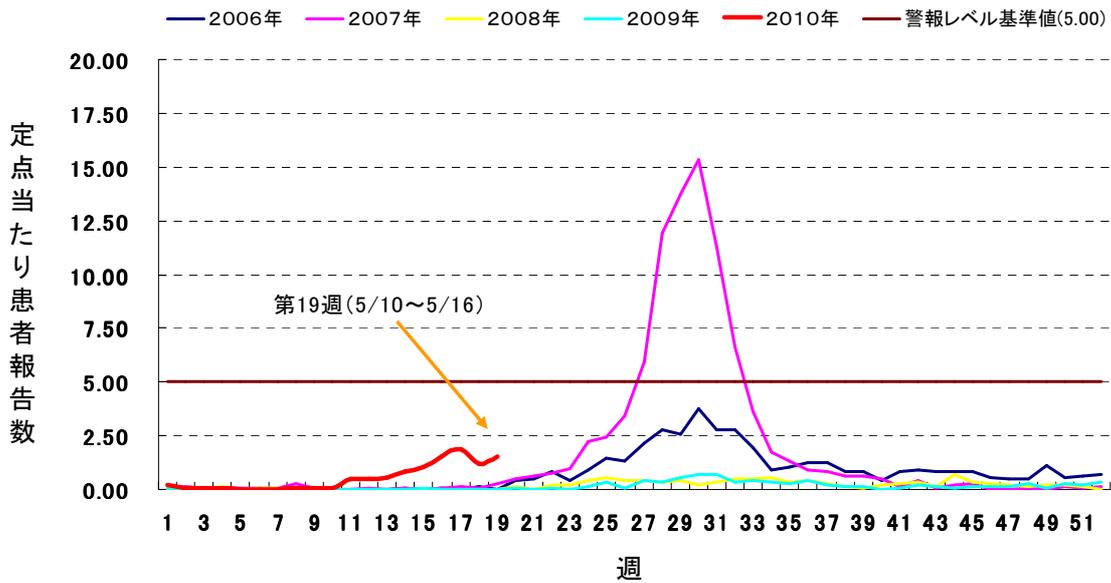
なお、手足口病の警報レベル基準値は5.0人(終息基準値:2.0人)です。(定点当たり患者報告数)注意報レベル基準値はありません。

手足口病の詳しい説明はこちら ([http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01\\_g2/k01\\_27/k01\\_27.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_27/k01_27.html))

### 患者報告数推移(全国との比較)



### 患者報告数の推移

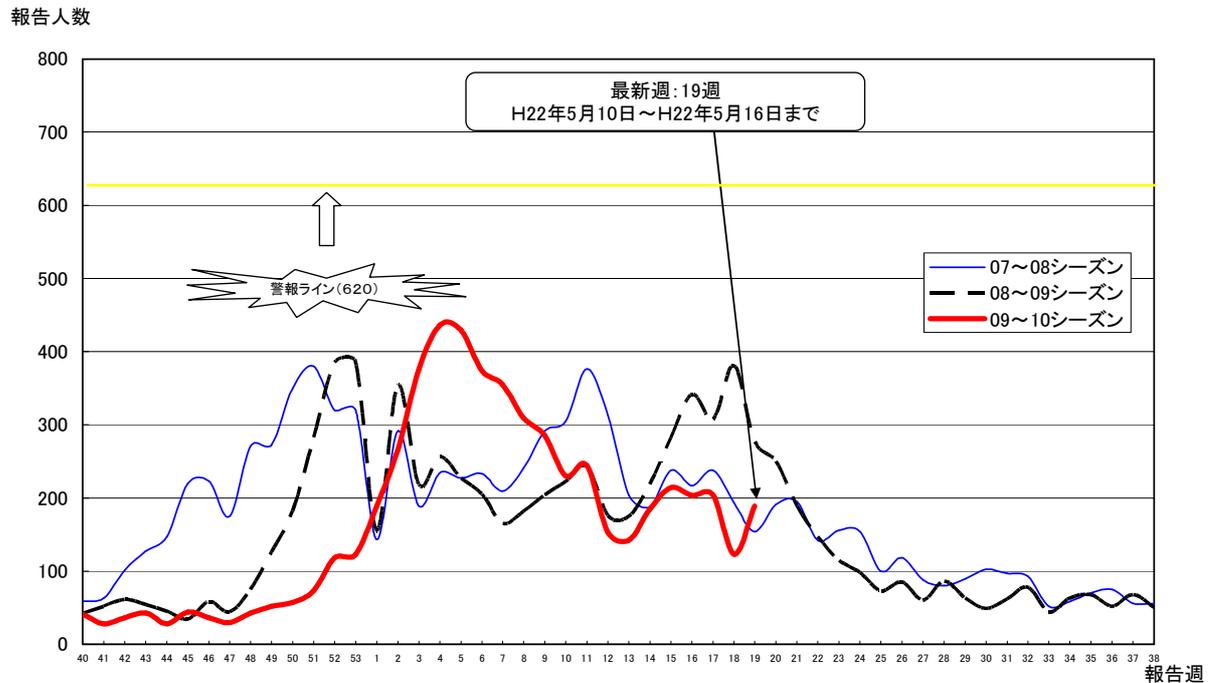


— **感染性胃腸炎** : **県全体の患者報告数は増加!** —

県全体の定点当たり患者報告数は6.10人（前週：3.97人）と増加しています。特に、海南保健所管内が9.00人（前週：3.50人）と患者報告数が大きく増加しています。

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人（終息基準値：12.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値はありません。

感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 2名

3類感染症：細菌性赤痢 1名

4類感染症：報告はありませんでした。

5類感染症：アメーバ赤痢 1名

後天性免疫不全症候群 1名

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	75
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	5
オウム病	1
つつが虫病	5
日本紅斑熱	1
レジオネラ症	3
アメーバ赤痢	2
急性脳炎	2
後天性免疫不全症候群	3
梅毒	2
破傷風	1
風疹	1

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

水痘（湯浅保健所管内）

流行性耳下腺炎（岩出、田辺保健所管内）

#### 注意報レベル

流行性耳下腺炎（湯浅保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	0.06	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	34	-	-	2	-	4	3	5	6	5	3	3	2	-	1
	定当	1.1	-	-	0.06	-	0.13	0.1	0.16	0.19	0.16	0.1	0.1	0.06	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	189	2	15	35	23	19	21	20	15	9	6	7	12	1	4
	定当	6.1	0.06	0.48	1.13	0.74	0.61	0.68	0.65	0.48	0.29	0.19	0.23	0.39	0.03	0.13
水痘	報告	76	3	5	12	10	15	18	4	3	2	2	-	2	-	-
	定当	2.45	0.1	0.16	0.39	0.32	0.48	0.58	0.13	0.1	0.06	0.06	-	0.06	-	-
手足口病	報告	47	-	1	5	12	7	4	9	3	1	2	1	2	-	-
	定当	1.52	-	0.03	0.16	0.39	0.23	0.13	0.29	0.1	0.03	0.06	0.03	0.06	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	17	2	9	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.55	0.06	0.29	0.16	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	13	-	1	2	3	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.42	-	0.03	0.06	0.1	0.03	0.06	0.1	0.03	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	90	-	-	3	13	11	15	16	7	11	8	5	1	-	-
	定当	2.9	-	-	0.1	0.42	0.35	0.48	0.52	0.23	0.35	0.26	0.16	0.03	-	-



<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	-	1	-	-	2	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	0.5	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	15	1	1	1	2	4	8	2	-
	定当	1.67	0.5	0.25	0.25	0.67	2	2	1	-
感染性胃腸炎	報告	79	18	33	13	6	11	19	10	-
	定当	8.78	9	8.25	3.25	2	5.5	4.75	5	-
水痘	報告	25	4	8	1	22	5	9	1	1
	定当	2.78	2	2	0.25	7.33	2.5	2.25	0.5	1
手足口病	報告	26	2	3	5	10	-	1	-	-
	定当	2.89	1	0.75	1.25	3.33	-	0.25	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	4	1	5	2	1	2	2	-	-
	定当	0.44	0.5	1.25	0.5	0.33	1	0.5	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	6	1	2	-	2	-	2	-	-
	定当	0.67	0.5	0.5	-	0.67	-	0.5	-	-
流行性耳下腺炎	報告	12	2	19	2	9	3	40	3	-
	定当	1.33	1	4.75	0.5	3	1.5	10	1.5	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…











### <院内感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いています。これは、全国の状況と同じです。また、患者報告数の最も多い年齢階級層は70歳以上で全体の70%近くを占めています。

その他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況にあります。

### 【4月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	28	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	5	19
	定当	2.55	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.18	0.45	1.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 和歌山県感染症情報 (WIDR) 2010 年第 19 号

発行日：平成 22 年 5 月 20 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail [e0503001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0503001@pref.wakayama.lg.jp)

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。